



学校の存在価値と子どもの成長

サンホセ日本人学校 校長 半山章人

「先生、見て見て！」業間や昼休みの時間に竹馬乗りや一輪車乗りにも必死に挑戦している子どもたちが、自分ができるようになったことを職員に見てもらいたく、声をかけてきます。転んだり、失敗したりしながら何度も挑戦し『できなかったことが、できるようになる』『今までの自分のベスト記録更新』すなわち子どもの素敵な成長が学校現場でも見られます。特に小学1年生の成長ぶりには目を見張るものがあります。人前で発表することが苦手だったり、新しい環境に適應できるの不安があったりする子どももいたと思います。しかし、この3か月をとおして、クラスの中で学び合い、上級生の背中を見て頑張る、またまわりの人の励ましの言葉や躰(しつけ)を受けて、一人ひとりが成長しています。何度も練習をして、全校帰りの会での堂々と発表する姿は、まわりの子にも刺激を与えます。全校帰りの会での各クラスの発表の後には、発表を聞いてよかったことや学んだことを自分の言葉で伝える時間があります。「はい」「ありがとうございます」に加え、自分の考えを表現する力も身につけてきました。

日本国内の過疎地域の小規模校は、子どもの数の減少のため、学校の統廃合等があり、学校数が減っています。そのような中でも、サンホセ日本人学校は日本人会をはじめ保護者の皆様、在外公館、文部科学省等の支援により、少人数でも存続し、日本と同じ学校教育活動がなされています。6月に入り、ラウニオン市森林公園で五感を使った活動、JICA や大使館、保護者の方による講演、オンラインによるアスンシオン日本人学校との交流等、様々な方のご協力を得て、子どもたちはたくさんの人の考えや新しい知識に触れ、成長しています。



【1年生の発表】



【協力しながら一輪車乗りの練習】



【お友達のお別れ会】



【JICA の方の授業】



【水泳学習】



【ラウニオンでの観察】

- 7月 1日(月) 集金・委員会
- 2日(火) 5時間授業(職員会議:下校 14時)
- 5日(金) 七夕集会(6校時)
- 9日(火) 中学部・期末テスト(～10日)
- 11日(木) リオ・ボゴタ・サンチャゴ・サンホセ日本人学校
顔合わせ【Zoom】
- 12日(金) クラブ
- 16日(火) 個人懇談・三者面談
(～17日)
- 19日(金) 1学期終業式
夏季休業(～8/12)
- 8月13日(火) 2学期始業式



リサイクルのご協力、ありがとうございました!

代表委員会を中心に呼びかけてきた、リサイクル品の回収。第1回目の収益は¥3,000 でした。この収益は、お誕生会やお別れ会のお菓子、飲み物代として使わせていただきます。次の予定は2学期の『お誕生会』です。夏休み中も含め、引き続きリサイクル品回収のご協力、よろしくお願いいたします。

